

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

天応中学校区 校番 16 学校名 天応中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	○明確な目標設定でよい。 ○学力向上には, 基礎能力の育成に取り組むことが重要である。これにより, 正答率も次第に向上すると思う。
目標達成のための方策の適切さ	A	○適切である。 ○学び方が理解できることにより, 自分で工夫し, 前向きな姿勢になると思う。これにより, 振り返りの効果を家庭学習に求めることができるようになると思う。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	○適切である。 ○正答率が全国平均を上回る生徒の割合は, よい。 ○家庭学習が身に付かないことが, 宿題ができないことや振り返りができないことにつながると思う。 ○家庭学習のテクニックを, 個々の生徒に合ったペースで指導することが必要かもしれない。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○適切である。 ○思考力・判断力・表現力を育成し, 個のレベルアップが図られることを期待する。 ○振り返りカードの工夫・改善によって, 家庭学習への意欲が出て, 定着させることが大変よい。 ○改善策を継続することで, よい結果が現れるだろう。
その他		○先生方の創意工夫は, しっかりと伝わってくる。 ○「子供と向き合う時間がある」とあったので, 安心した。自分のよい点を見付け, 自信をもって学んで欲しい。 ○「自己肯定感が高い」という結果を強みとし, 成功体験から, 褒めて, 伸ばして欲しい。 ○家庭学習ができていない生徒からの家での過ごし方の発表等で, 他の生徒にもベンチマークするのはどうか。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○学習する意欲や, 充実感をもたせることができるよう, 指導の工夫・改善を重ねるとともに, T・Tなどにより個に応じた支援を行う。 ○「思考力・判断力・表現力」を育成する授業を展開し, 定期試験で「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出題する。 ○フォーサイトを活用し, 家庭での学習時間の振り返りを記入させ, 家庭学習の定着を図る。 ○ICT機器の使用について, 生徒にセルフコントロールを呼びかけたり, 学年通信等で保護者に協力を求めたりする。 ○行事を生徒が主体的に活動できるように改善するとともに, 生徒の活動風景を掲示物や通信等で地域や保護者に紹介し, 適時, 評価する。 ○教職員がアイデアを出し合い, 業務改善に向けた取組を推進する。 ○業務の効率化, 業務分担の見直しを行い, 組織的な校務運営を図る。
--------------------	---